

事業目的・背景・課題

- 地方誘客の目的となる地域の歴史文化・自然・暮らし・伝統等を感じられる体験型コンテンツについては、その地域の歴史文化・自然・暮らし・伝統といった地域の魅力を伝えるガイドが必要。OTAに掲載されている口コミにもガイドに対する評価を記載している場合も多く、ガイドの質はコンテンツの質に直結。満足度の向上、深い体験価値を提供することで消費単価の向上や、それらによる地域社会と観光の好循環の構築に質の高いガイドは重要。
- 一方、地方部においては、地域独自のガイド認定制度の構築や人材育成プログラムの構築によって先進的な取組を行う地域が現れてきたものの、ガイド報酬の低さや繁閑差によって通年での就労が困難等の構造的な課題も相まって、総じてガイド人材の確保に苦慮している状況。ガイドの不足は観光コンテンツのサービス供給にも直結し、造成したコンテンツの自走化や持続的な経営への影響も懸念されることから、人材に限られる地方部において、ガイド人材を無理のない形で持続的に確保・育成することが必要。

事業内容

- 地方部でのガイド人材の持続的な確保・育成や、消費単価の向上、オペレーションの改善等により、体験型コンテンツの持続的な供給や地域消費の向上へと結びつけた、地域一体となり総合的に取り組むモデル地域を選定・支援。

- ① ガイド人材の確保・育成を核にした地域一体的なビジネスモデル構築事業（調査事業）（1件あたり上限20百万円）
- ② ローカルガイドの質の向上に必要な設備導入・物品購入等（補助事業）（1件あたり上限10百万円）

事業スキーム

- ① 事業形態：直轄事業
請負先：民間事業者→民間事業者・地方公共団体・DMO等
事業期間：令和7年度～
- ② 事業形態：直接補助事業（補助率 1/2）
補助対象：民間事業者・地方公共団体・DMO等
事業期間：令和7年度～

事業イメージ



ビジネスモデルの構築

満足度・消費単価向上
地域社会と観光の好循環

